



八中だより



第17号
令和6年12月25日
府中市立
府中第八中学校

『だるまストーブから学んだ多くのこと』（終業式の話の一部）
校長 高汐 康浩

「『だるまストーブ』と聞いてどんなものをイメージしますか？」
私が府中二小に通っていた低学年の頃の教室の暖房は、だるまストーブでした。だるまストーブは左のイラストで示した鉄でできた丸みをおびたストーブです。皆さんは見たことはいませんか。冬になるとストーブが当番が輪番で回ってききました。二人一組で行うので、一か月に二回くらいは当番をしなければならなかったのです。ストーブ当番の仕事は小学校低学年にとっては、かなり重労働でした。朝七時には学校の東門の近くにあった石炭小屋に行き、バケツにいっぱい石炭を入れます。そして、そのとても重いバケツを教室まで運ぶのです。教室まで運んだら、バケツの石炭をストーブにくべてマッチと着火用の燃料で石炭に着火します。それを、子ども二人で行い、クラスの仲間たちが登校するまでに教室を温めておかなければならぬのです。

教室を適温にするのは、とても難しい作業でした。それを小学生の低学年の児童が、二人で考えを言い合いながら進めるのです。ときには、空気を送り込みすぎて、教室がサウナのように熱くなりすぎたこともありました。教室内が煙で充満してしまったり、熱くなりすぎたことで温度が上がってストーブが真赤になり、慌てて水をかけて教室中が蒸し風呂状態になったこともありました。

低学年の私にとって火を扱うことはとても怖いことでした。マッチを擦ることも初めはうまくいきませんでした。マッチの火を紙に移し燃やすことも、いつも恐れながらドキドキしてやっていたものです。やがて、マッチも上手に使えるようになり、ストーブの調節のコツをつかめるようになります。児童たちは、あれやこれやと情報交換や試行錯誤を繰り返しながら、手際の良いストーブ

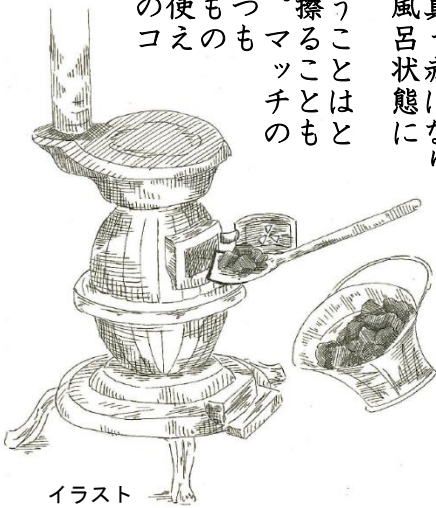


イラスト 美術科 渡邊教諭 の作品



〈在籍生徒数〉 一学年216名、二学年248名、三学年261名
全校生徒数725名
〈学校住所・電話番号〉
府中市四谷一丁目二八二七
電話 〇四二(三六四)一八八一
〒183-0035
★本校だよりの記事を楽しみにしています。感想をいただきました。ありがとうございます！



二十三日に学校に来客がありました。その方は「生徒の皆さんの思いやりの心とあたたかい気持ちのこもった気遣いをするさりげない行動にとても感動しました。」とおっしゃいました。夕方、学校に到着すると、3名の生徒の皆さんが来校者用の玄関まで案内してくれ、そして、扉を開けて「どうぞ」と言ってくれたというものでした。八中生の『思いやり』の心が確かに育っています！

〈保護者の皆様、地域の皆様へ〉
今学期も教育活動へのご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。あわせて、「八中だより」への感想も多数いただき、重ねてお礼を申し上げます。さて、今学期も、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様とともに、教育活動や学校行事など行ってきました。さまざまな場面でご支援、ご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。来学期も「安全」を第一に、より充実した教育活動を行ってまいります。今後ともよろしく願っています。
明日から冬休みです。各家庭におかれましては、ぜひ、お子様とともに今学期を振り返る中で、学校生活における出来事などについて、お子様からできるだけ多くの話を聞いていただければと思います。そして、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるようお願いいたします。



活躍する八中生

【敬称略】

対話 授業のようす
発見 その先を見据えて
決定 表現

★☆☆府中市小・中学生の人権作文発表会★☆☆

優秀賞・八中代表生徒 二年 三浦 眞子
『医者でなくても、偉い人でなくても人を救える』
をテーマに発表をしました。つらい思いをしている
人を救いたいという強いメッセージが込められて
おり、たくさんの方から感動的な内容だったとい
う感想をいただきました。

優良賞 毛利日向子 松山果生 関根 あゆみ
東優佑 池田 咲葵 田名部 映奈

★☆☆東京都読書感想文コンクール★☆☆

佳作 和田 真理萌

★☆☆演劇部★☆☆

北多摩演劇発表会 演目 「まにまに」 優秀賞

★☆☆卓球部★☆☆

JUIC杯 女子団体 優勝

利根川 花奈 藤本 ゆずな 大町 夏花
畔上 夏実 松浦 優那 細井 優莉

2024年度中央大学杯スポーツ大会

卓球中学生女子の部 優勝
利根川 花奈 藤本 ゆずな 畔上 夏実
細井 優莉 松浦 優那 嶺川 恵実 濱田 千晴
卓球中学生男子の部 準優勝
保母 凛太郎 寺田 透吾 梅原 碧真
谷本 雅弥 小川 斗夢 右田 聖

★☆☆バスケットボール部★☆☆

令和六年度 第九ブロック バスケットボール新人大会
男子の部 第四位 女子の部 第五位
男女共一月十九日からの東京都中学校バスケットボール
新人大会（都大会）に出場します。

★☆☆感動のある授業

ひらめきのある授業

十一月二十九日の一年生の数学（金
常勤教員）の授業では、生徒は少し難し
問題にチャレンジしました。仲間や先生と
の対話で新たな気付き（発見）をして、
「なるほど！」「確かにそうだ」という声
がたくさん上がりました。そして、自分
がたくさん上がりました。また、必要
な解決方法は違いますが、他にすることに感
動する姿が多くありました。また、決
定）場面が多くなりました。



感動の表情の生徒たち

TOPICS

市制施行七十周年を契機として、「思いをかたち」に『よりよい府中市』の未来を担う」というテーマで協議しました。参加した生徒の皆さんにインタビューをしました。

★青木 侑亜 会長
「他校の先進的事例、例えば、意見箱のデジタ
ル化、生徒会が主催する花壇の整美など、八中
での今後の取組に大変参考になる話を聞くこと
ができました。」

★田中 彩芭 副会長
「八中で企画していることについて他校ですでに実施している例が
あったので参考にしていきたいと思いました。」

★大宅 愛実 副会長
「八中の目安箱など、うまくできていないことについて、他校の事例
を参考にし、より充実させていきたいと思いました。」

★川城 陽斗 役員
「他校の役員の皆さんは学校の地域に目を向けてさまざまな取組を
行っていたので、ぜひ参考にしたいと思いました。」

★土屋 悠暉 役員
「他校での先進的な取組を参考に、八中の生徒会の取組を今以上
に進化させていきたいと思いました。」

★石塚 美沙 役員
「八中で実施している取組、例えばゴミ拾いやボランティアの取組な
どに改めてそのよさに気付きました。」

★和田 裕樹 役員
「ボランティア活動について、どのようにしたら協力する人を増やす
ことができるのかなど、充実した意見交換ができました。」

□コンピテンシーと正対（全校朝礼の話の一部）
三年生の面接練習を進めています。「コンピテンシー」を意識したあ
る生徒の応答を紹介しています。その生徒は中学校で学んだこととして
「言葉が発するときに一つだけ守っていることがあります。言いたい
ことを頭の中できちんと整理してから発するようにしています。」と
いう話をしました。このことは、過去の失敗から学んだことを十分に
活かしている素晴らしい例といえます。その他、「志望理由」を尋ねた
質問に「正対」していない例が目立ちます。「学校の設備が素晴らしい」
とか「説明会で高校生の皆さんが優しく対応してくれた」など「受験
校の特長」は志望理由とはいえません。志望理由は自分の心の中にあ
るものです。

お知らせ

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこ
ろ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっ
て困っているときに、相談できる相談窓口はたく
さんあります。ぜひ、一人で悩まず、相談しよ
う。不安や悩みがあるときは、一人で悩まず、
相談しよう。相談するとどうなるの？」「保護
者向け相談窓口」と「TOKYOほっとメッセージ
チャンネル」を紹介するので、活用してください。
下のQRコードまたはURLからアクセスできます。

